

平成26年(2014年)4月の結果 (二人以上の世帯)

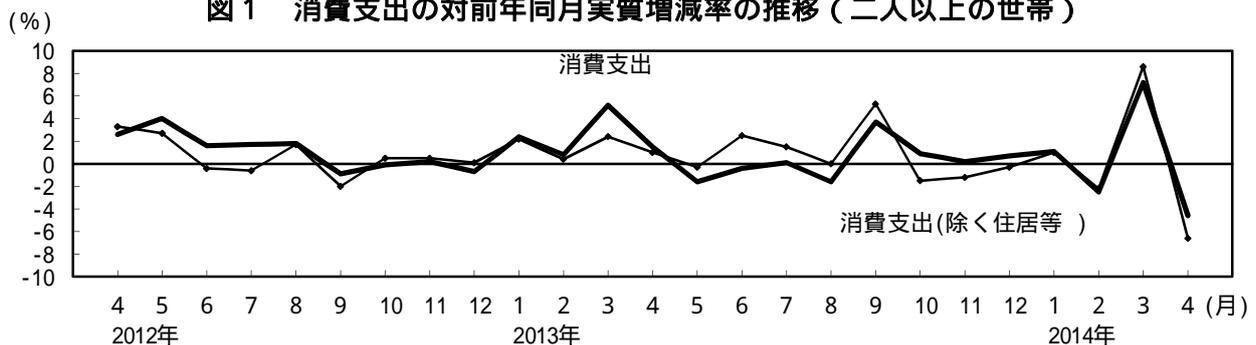
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 302,141 円		
前年同月比	実質 4.6%の減少	前月比(季節調整値)	実質 13.3%の減少
	名目 0.7%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 251,523 円		
前年同月比	実質 6.6%の減少	前月比(季節調整値)	実質 13.8%の減少
	名目 2.8%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 463,964 円		
前年同月比	実質 7.1%の減少		
	名目 3.3%の減少		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

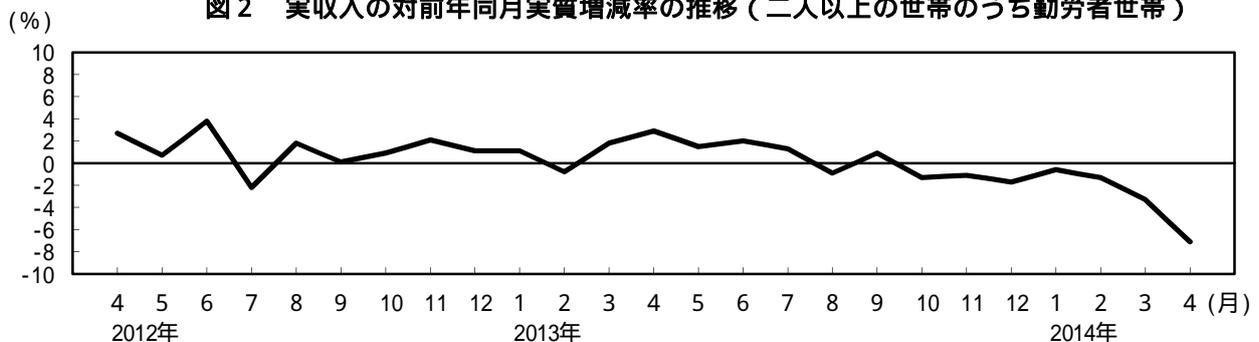
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2013年										2014年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
消費支出	1.5	-1.6	-0.4	0.1	-1.6	3.7	0.9	0.2	0.7	1.1	-2.5	7.2	-4.6	
消費支出(除く住居等)	1.0	-0.3	2.5	1.5	0.0	5.3	-1.5	-1.2	-0.3	1.0	-2.2	8.6	-6.6	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2013年										2014年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
実収入	2.9	1.5	2.0	1.3	-0.9	0.9	-1.3	-1.1	-1.7	-0.6	-1.3	-3.3	-7.1	
可処分所得	0.5	3.1	1.4	0.4	-1.4	-0.4	-1.4	-1.4	-2.1	-0.5	-1.3	-3.2	-7.0	
消費支出	1.1	1.4	0.9	-1.6	-0.5	3.7	-1.0	-1.6	-2.3	-0.2	-3.2	7.5	-6.9	
平均消費性向*	0.5	-1.7	-0.2	-1.4	0.8	3.5	0.3	-0.2	-0.1	0.3	-1.6	10.6	0.1	

*: 対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2014年4月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	302,141	-0.7	-4.6	-4.6		2か月ぶりの実質減少
食料	64,942	-2.2	-6.9	-1.49	<減少> 穀類,魚介類など	2か月ぶりの実質減少
住居	20,200	11.9	10.8	0.64	<増加> 設備修繕・維持	8か月連続の実質増加
光熱・水道	25,569	6.3	-0.6	-0.04	<減少> 他の光熱,ガス代など	2か月ぶりの実質減少
家具・家事用品	7,560	-14.3	-18.7	-0.54	<減少> 家庭用耐久財,家事用消耗品など	6か月ぶりの実質減少
被服及び履物	11,308	-3.9	-6.0	-0.23	<減少> 洋服,履物類など	2か月ぶりの実質減少
保健医療	12,105	-2.7	-4.5	-0.18	<減少> 保健医療用品・器具,医薬品	6か月ぶりの実質減少
交通・通信	41,859	-0.5	-3.6	-0.49	<減少> 交通,通信	2か月ぶりの実質減少
教育	22,449	7.4	5.0	0.34	<増加> 授業料等	7か月ぶりの実質増加
教養娯楽	31,297	2.6	-1.8	-0.18	<減少> 教養娯楽用品,書籍・他の印刷物	2か月ぶりの実質減少
その他の消費支出	64,852	-6.6	(-10.3)	(-2.34)	<減少> こづかい,諸雑費など	2か月ぶりの減少
消費支出 (除く住居等)	251,523	-2.8	-6.6	-		2か月ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

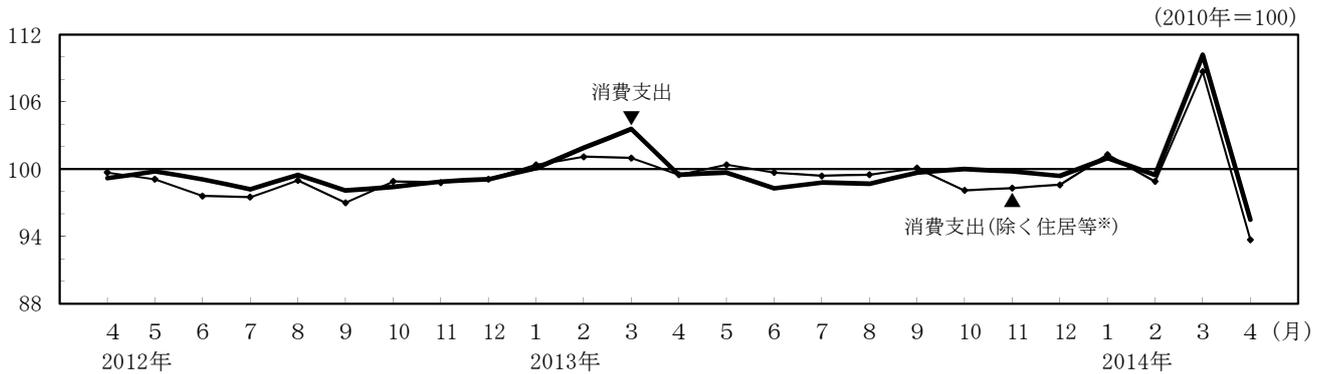
2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度		品目
<減少項目>			
諸雑費	[-1.20]	葬儀関係費,たばこ
交通	[-0.57]	鉄道通勤定期代,鉄道通学定期代
教養娯楽用品	[-0.38]	ペットフード,スポーツ用品
穀類	[-0.29]	米,食パン
通信	[-0.25]	携帯電話通信料,固定電話通信料
魚介類	[-0.20]	さけ,ぶり
酒類	[-0.20]	発泡酒・ビール風アルコール飲料,焼酎
<増加項目>			
設備修繕・維持	[0.69]	外壁・塀等工事費,給排水関係工事費
授業料等	[0.51]	私立大学,専修学校

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2013年												2014年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
消費支出	99.5	99.7	98.3	98.8	98.7	99.7	100.0	99.8	99.4	101.0	99.5	110.2	95.5			
対前月変化率(%)	-4.0	0.2	-1.4	0.5	-0.1	1.0	0.3	-0.2	-0.4	1.6	-1.5	10.8	-13.3			
消費支出(除く住居等*)	99.5	100.4	99.7	99.4	99.5	100.1	98.1	98.3	98.6	101.3	98.9	108.7	93.7			
対前月変化率(%)	-1.5	0.9	-0.7	-0.3	0.1	0.6	-2.0	0.2	0.3	2.7	-2.4	9.9	-13.8			

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2014年4月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	463,964	-3.3	-7.1	-7.1	7か月連続の実質減少
世帯主収入	356,470	-1.0	-4.9	-3.64	2か月連続の実質減少
定期収入	348,929	-0.1	-4.0	-2.92	3か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	7,541	-29.7	-32.5	-0.72	
配偶者の収入	55,066	-3.5	-7.3	-0.86	9か月連続の実質減少
他の世帯員収入	5,954	-43.3	-45.5	-1.00	6か月連続の実質減少
非消費支出	90,874	-3.6	—	—	2か月連続の減少
可処分所得	373,090	-3.2	-7.0	—	9か月連続の実質減少
消費支出	329,976	-3.1	-6.9	—	2か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	88.4	(前年同月) (ポイント差) 88.3 0.1			季節調整値で見ると、74.2%で、前月に比べ、10.9ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。